

矢作川流域圏懇談会通信

R2 フィールドワーク vol.2



発行日：令和2年12月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆恵那市奥矢作地域を訪れ、森林資源の管理・育成、地域循環利用について学びました！

奥矢作森林塾が取り組んでいる森林環境譲与税を活用した森林整備の状況、奥矢作地域での森林資源を軸とした各種活動について話し合いを行いました。その後、間伐で切り出した材を、薪などへ加工する現場を見学しました。



日時：令和2年10月24日（土） 9:30~12:00

場所：①奥矢作森林塾：森林整備・管理、各種活動について話し合い

②串原大野地区：切り出した材の集積場と薪加工現場の見学

参加者：15名(事務局を含む)

◆フィールドワークの記録

① 奥矢作森林塾での話し合い：森林整備・管理、各種活動について話し合い

奥矢作森林塾が実施している森林整備や管理、施設の維持管理、移住定住施策など各種活動について説明いただき、今後の展開などについて話し合いを行いました。

【森林経営管理制度の取り組み】串原地区において森林環境譲与税を活用した森林の整備や管理を展開し、意向調査、集積計画作成、間伐の実施を進めています。

【空き家を利用した移住定住】移住定住施策のもと、70人以上の方々が都市部から奥矢作地域に移住されるなど地域振興も活発に進められています。

【里山づくり】「串原・里山づくりの会」の活動として、伐倒・造材・集材など森林整備活動、森林学習・安全管理講習・森林調査など技術や知識の育成活動、C・D材（主にチップ用として利用される低質材）を活用した薪づくりなどが紹介されました。

森林環境譲与税を活用した森林整備の課題、外から人を呼び込むための資源活用や広報などの工夫、新しい価値観からみた奥矢作地域の魅力などについて、多岐に及び意見や提案を出し合いました。



② 串原大野地区でのフィールドワーク

里山づくりの会により搬出されたC・D材と加工された薪の集積する現場を視察しました。C・D材として搬出された材木、加工された薪を見学しながら、薪ストーブへの活用など地域循環利用の現状などについて説明を受けました。



奥矢作森林塾による説明



山から搬出され積み上げられたC・D材。D材は薪として加工される。



薪割り機



加工された薪。薪ストーブ、キャンプなど地域循環利用が検討されている。

動画のリンクはこちら

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 佐藤、専門官 竹下、技官 中村

TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8129

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijinet.or.jp) までお送りください。

